

知事退任にあたって

明日7月31日の任期満了をもちまして、兵庫県知事を退任します。県民の皆さんをはじめ、在任中の多くの方のご支援、ご協力に、心より感謝とお礼を申し上げます。

就任当時の最大の課題は、阪神・淡路大震災からの創造的復興と震災復興計画の実現でした。感謝の思いを全国に発信した「のじぎく国体」の盛り上がりは、忘れられません。

復興過程で重くのしかかった財政負担に対応するため、行財政構造改革に取り組み、その目標を達成することができました。しかし、単に財政支出を抑えてきたものではありません。時代の変化や県民ニーズへの対応、活力の創造に向けた施策との両立を図りました。

少子高齢化に対応する子育て環境や介護基盤の充実、兵庫経済の再生に向けた新産業の創出や企業立地の促進、御食国ひょうごの実現に向けた農林水産業の基幹産業化など、20世紀に解決できなかった諸課題に全力で立ち向かいました。

多くの風水害にも見舞われましたが、復旧過程を通じて県土の防災力は高まっています。県立病院の計画的整備をはじめとした医療体制の整備、兵庫型の体験教育の推進、芸術文化の振興などにも取り組みました。県政150周年も無事迎えることができました。

20年間、一貫して県政推進の基本理念としたのが「参画と協働」です。原点は、県民の夢や希望を描いたビジョン。県民のビジョンだからこそ、県民自らがその実現に参加し、協働し、実現することを基本としてきました。

喫緊の課題であるコロナ対策はもとより、激甚化する自然災害への更なる備え、人口減少・人生100年時代への対応、地方回帰やデジタル化など新たな課題、兵庫五国の多様性と個性を生かす地域づくり、兵庫の自立など、日本の発展をリードし世界につながる兵庫づくりを心から願っています。

兵庫の課題 挑みて二十年 一筋の途 追いつけたり

令和3年7月30日

兵庫県知事 井戸 敏三